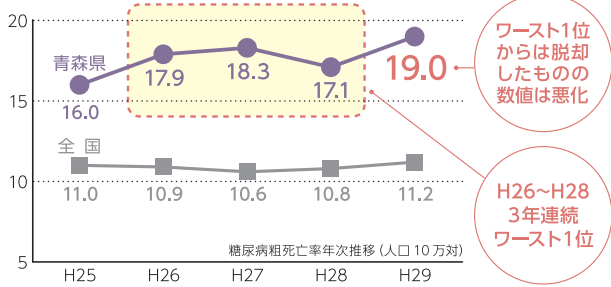


DATA 青森県の糖尿病による死亡率



「糖尿病」って、どんな病気？

そもそも

糖尿病は、すい臓でつくられる血糖値を下げる働きをする「インスリン」というホルモンが出にくくなったり、効きにくくなったりして、高血糖が続く病気です。

青森県の糖尿病による死亡率は、平成26年から28年の3年間は全国ワースト1位。平成29年はワースト2位になったものの、死亡率は上昇しており、糖尿病が原因で亡くなる方がとても多いのが現状です。

「糖尿病リテラシー向上キャンペーン」と題し、知事をトップに県職員で構成するPR隊を結成。県民の皆さんに青森県の糖尿病の現状、発症予防や重症化予防のための正しい知識を身につけてもらうため、さまざまな活動を展開しています。

このような状況の打開策として、県では、平成30年度から

「糖尿病」には2つのタイプがあります

【1型糖尿病】

インスリンを作る細胞が何らかの原因で壊されてしまうことにより発症します。子どもや若い人を中心に幅広い年齢で発症し、生活習慣が関わる2型糖尿病とは、原因や治療方法が大きく異なります。

【2型糖尿病】

糖尿病患者の90%以上がこの2型糖尿病で、生活習慣の乱れや遺伝体質など、さまざまな要因が重なって発症します。血糖値を正しくコントロールすることで、病気の進行を防ぎ、合併症を予防することができます。



特集 健康のために今日できることから始めよう

知ろう！糖尿病の正しい知識

理解度チェック! 糖尿病〇×クイズ

次の説明は、正しい? 間違っている?

- 第1問 尿に糖分が出ていなくても、糖尿病の場合がある。
- 第2問 自覚症状がない程度の高血糖状態では、合併症は進行しない。
- 第3問 糖尿病と診断されたが、自覚症状がないため、自己判断で治療をやめても良い。

※答えは5ページに記載しています。

【DATA】青森県と男性平均寿命1位 滋賀県との比較

青森県の平均寿命が短い理由の一つとして、働き盛りの若い男性が亡くなっていることが挙げられます。男性平均寿命1位の滋賀県と比べてみても、働き盛り世代の男性の死亡率が高くなっています。

年齢	青森県(男性)		滋賀県(男性)
	倍率	死亡率	死亡率
35-39歳	1.8	122.2	66.7
40-44歳	1.9	131.0	70.4
45-49歳	1.5	219.0	146.2
50-54歳	1.7	477.5	281.4
55-59歳	1.7	660.5	377.5
60-64歳	1.7	1034.8	609.8

※倍率は滋賀県の死亡率を「1」とした場合(人口10万対) 出典:平成29年人口動態統計